

◆ 第11回 子牛は何を望んでいるでしょう？

新生子の死亡率は、2～30%程と牧場や、メスであるかオスであるかにより異なります。今の搾乳頭数を持ち続けるには、少なくとも生まれた3頭の子牛のうち1頭は毎年搾乳牛として仕上がらなければなりません(10月2週号で説明)。

子牛を健康に育てるために最も安く、高価な抗生物質より有効で手元にあるものは初乳です(図1)。

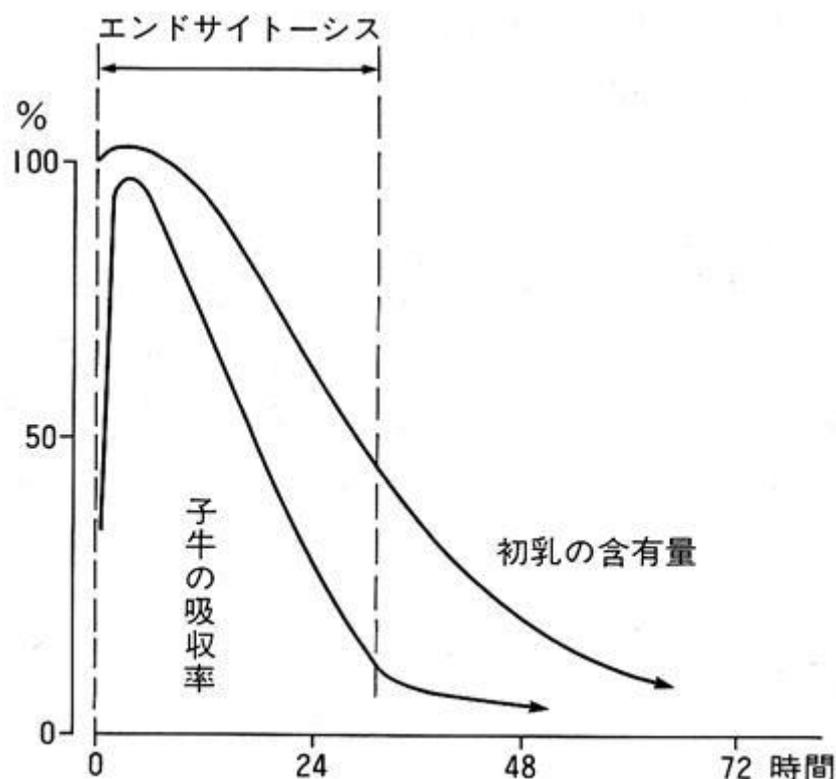


図 1

初乳中の免疫グロブリンの消長…分娩後、24時間以上経過すると著しく低下する事に注目(杉本、1990)。

しかし、分娩後24時間程で初乳に含まれる抗体濃度は極端に低下し、さらに子牛の吸収能力は4時間程で急激に低下します。分娩時に乳房炎にかかっている場合は、感染症の原因を作る事になります。生まれて1カ月以内に死亡する主な原因として肺炎と下痢があげられております。いずれも、細菌やウイルスの感染による例が多いようです。

しかし、初乳にはこれら感染症を予防する抗体や、牛乳に多く含まれるラクトグロブリンは、ピーターセン(1955)の報告では抗体としての作用以外に抗炎症作用も認められております(図2)。分娩後30分から2時間程の間に1回ないし2回の搾乳と、1～2%程を哺乳瓶で誤嚥(ごえん)しないように注意して飲ませ、残りを冷凍保存しておくといいでしょう。

子牛には、分娩後3日頃までは全乳を与えるようにしましょう。

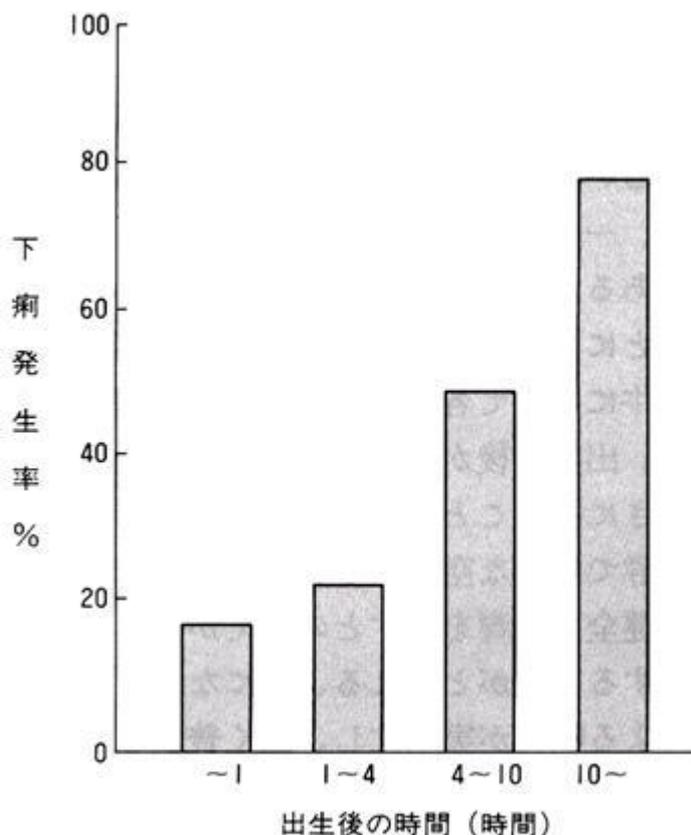


図 2

分娩後どのくらい経過してから初乳を飲ませたかと、下痢の発生率の関係…分娩後4時間以上経過してから初乳を飲ませると、下痢の発生率が急激に高くなる(杉本、1990)。

読者の皆様にお尋ねします。

分娩後、7週目頃までは人工乳(牛乳由来のタンパク質と穀類や豆類を粉状にしたものの混合物、あるいはカーフスターター=添付されている原料を粉状にし、固形化したもの)を1日に3~4回給与します。

液状物を与える時、

①	バケツを床に置く、あるいは頭の高さにする
②	入れ物に乳首をつけたバケツ、あるいは哺乳瓶などの方法で与える

など、子牛はどの方法を好きなのでしょうか？ バケツを床に置くと、牛の生理機能上反芻胃に入り、下痢の原因となる？